

こんにちは町長です。

『東大秋入学検討』このニュースが流れたのは1月中旬でした。東京大学の入学定員は大学・大学院とも1学年3千人強ですから、60万人に上る大学入学人数からみれば、その対象は非常に限定的です。しかし、日本の頂点にある大学が打ち出した方針とあって、続々と追随した見解が示されています。

そもそも、この秋入学とはいったい何のためなのか。東大の検討資料で強調されているのは、外国は秋入学がほとんどで、時期が異なる日本の大学には優秀な教授陣や学生が集まりにくく、国際的に通用する人材育成に支障があり、大学も国際競争から遅れをとるとするものです。確かに、あらゆる分野でガラパゴス化する日本ですから、そうなのかもしれない。議論の行く末はいずれあるせよ、やはりこの問題は、大学の運営や国際的な地位といったことより、「学生の可能性を大きく広げるとい立場で考えてほしい」と願うのは私だけではないと思います。



卒園記念写真撮影のためこしき保育所を訪れた町長

一方、受験生がこの問題に対するインタビューで、「大学入学までの時間を、どう過ごすかが大事になる。ボランティアなどの社会体験ができれば、大学生活にも非常に役立つ。」と答えているのを聞き、もしかすると、社会構造がいい方向に変わる大事な起点になるのではないかと期待を持った次第です。それはさておき、この春に向けた就職・受験の終盤。みんなガンバレ!!

ご冥福をお祈りします

氏名 年齢 住所

田中操	橋井峯子	米原英夫	中曾治雄	中曾あさこ	篠村雅美	前田基敬	上貝春子	竹岡朝之	内田武明
92	83	64	81	98	65	83	88	83	90
大坂	父原	三部	坂長	坂長	大坂殿	遠藤	真野	久古	清原

(敬称略)

伸びよう伸ばそう青少年
地域の子どもは、
地域で見守り育てよう

地域の子どもたちに積極的にあいさつや声かけを行い、よいことは褒め、やってはいけないことは注意し、よりよい地域や環境をつくりましょう。

青少年育成伯耆町民会議
伯耆町教育委員会

伯耆町人権啓発講座

ひまわりセミナー

「人権」と構えずに、人との出逢いの場、身近なことを学ぶ機会として皆さんお誘い合わせのうえ、どうぞ気軽にご参加ください。皆さんのお越しをお待ちしています。

とき 3月9日(金) 19:00~20:30
テーマ 【閉講式】 同和問題 部落差別はなぜ残っているか
講師 南部町教育委員会社会教育室長 新井 宏則さん
ところ 文化センター

【問い合わせ先】教育委員会事務局 ☎62-0713